

8月5日 はぐくむ委員会勉強会の概要について（報告）

《当日の流れ》

- ・ 13:30 に開始し、14:00 頃まで配布資料の説明等
- ・ 14:00 から 15:00 までは3～4人のグループとなり、グループでご自身の興味のあることや気になっていることについて意見交換を実施
- ・ 15:00 から 15:30 まで、グループでどんな話をしたか全体で共有

《意見交換の内容》

- ①地域の問題点やニーズをもっと細かいところから吸い上げする必要がある。
行政、市民、各団体の成り立ちやポジションをうまく理解して連携すれば情報共有できる。
行政からの情報提供が多すぎて、逆に市民に伝わらないのでは。
- ②はぐくむ条例の背景や成り立ちについて意見交換。
条文を一度通って、中身をしっかり見てみた。市民の理想をいきなりひとつにはできないので、定義しづらい、抽象的であいまいな表現になってしまうということがわかった。
- ③少なくとも行政内の他部署の管理職ははぐくむ条例の理念を知り、はぐくむ条例について共有できる場が必要だと思う。
- ④市の全職員がはぐくむ条例について答えられるように、意識を統一できれば。
旧橋本と旧高野口で違うところが多々ある
統一しなければひとつの市としてまとめることは難しい。
失敗してもいいから、動いてみないとどうなるかわからない！

《第2回はぐくむ委員会（8月26日）までに委員各自で行うこと》

- ★8月17日までに、別添のワークシートに自分の考えをまとめ、事務局へ提出する。
全項目埋めなくてもOK。
提出後、事務局で取りまとめし、整理したものを後日（8月26日までに）郵送します。

《ワークシート 検証項目設定のヒント》

- ・ 資料1 はぐくむ条例に関連する取組内容から、興味のあるものを探す。
左の欄を参照し、はぐくむ条例のどの条文にあたるかを確認。
（例）資料1のP.4にある、広報や情報発信の仕方が気になる→左の欄にある、基本原則の「情報共有」を検証項目に設定。
- ・ 資料2 弘前市の例を見て、「検証とはどんなことをするのか」確認してみる。
- ・ 項目の設定が難しければ、普段生活している中で気になっていることをワークシートの該当する枠に記載してもよい。